

留萌市が目指す農林水産業の姿と政策の4本柱

消費者と生産者をつなぐ豊かな農林水産業

- 市民の豊かな暮らしを支える農水産物の安定供給の推進
- 安全・安心で、高品質な農水産物の生産に向けた取り組みの推進
- 生産者の顔が見える農林水産業の展開や消費者などのニーズに応える取り組みの推進 など

自然と環境に調和した農林水産業

- 農業・農村の持つ多面的機能の維持、農地などの適切な保全管理の推進
- 間伐材を中心とした森林資源の有効活用に向けた研究の推進
- 海、川の生態系の保全と海を豊かにするための森づくりの推進 など

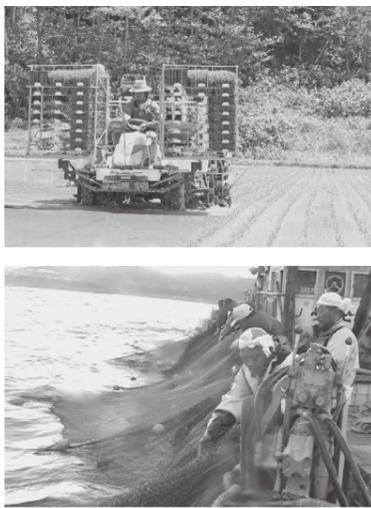
多様な担い手が活躍する農林水産業

- 新規就農者の受入体制整備、農業生産組織などの育成と構築の推進
- 森林づくりへの市民参加や森林教育、多様な林業担い手の確保と育成の推進
- 漁業の新規就業者の確保や技術向上のための研修体制の整備などによる担い手の育成の推進 など

留萌ならではの創造する農林水産業

- 農漁業者が自ら取り組む直売や加工・販売の取り組みの推進
- 新たな農産物の生産や加工品の製造などによる新規需要の開拓の推進
- 留萌の「食」の高付加価値化とブランド化の推進 など

皆さんの意見や提案
(パブリックコメント)
を募集します!



■計画の内容をご覧いただくためには

市役所2階の農林水産課、市立留萌図書館、中央公民館、保健福祉センターはとふるなどの公共施設に設置、または市・ホームページ (<http://www.e-rumoi.jp/>) で、「留萌市農林水産業振興基本計画(素案)」の内容をご覧いただき、指定様式で意見や提案をお寄せください。

■意見をお寄せいただくには

☞受付期間および応募方法

9月10日(水)から10月9日(木)までに、市・農林水産課へ提出またはファクス、電子メール、郵送(当日消印有効)で意見や提案をお寄せください。※ただし、市・農林水産課へ直接提出される場合は、土日、祝日を除く9:00から17:00まで受け付けています。

☞意見や提案を書く際には

「留萌市農林水産業振興基本計画(素案)」の内容の全てに対し意見を書く必要はありません。興味のある部分をお読みいただき、意見や提案をお寄せください。また、氏名および住所の記載が必要です。(法人の場合は代表者および事務所の所在地)

☞応募先

市・農林水産課 (〒077-8601 留萌市幸町1丁目11番地)
 ☎ 42-1837 FAX 42-7865 E-MAIL nousui@e-rumoi.jp

留萌市農林水産業振興基本計画を策定します

皆さんの意見や提案(パブリックコメント)を募集します。ぜひ多くの声をお寄せください。



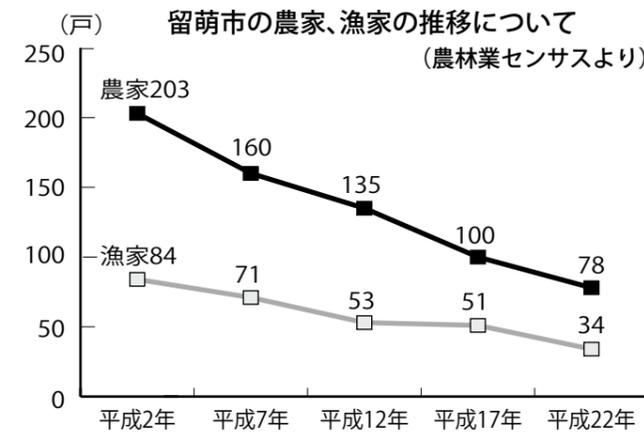
市は今年度、将来に向け農林水産業を振興していくために、「留萌市農林水産業振興基本計画」を策定します。安全で安心、そして豊かな「食」を提供する農林水産業の持続的な発展のため、皆さんの意見や提案(パブリックコメント)を募集します。

「留萌市農林水産業振興基本計画」について

「留萌市農林水産業振興基本計画」は、市の農林水産業を取り巻く情勢や直面するさまざまな課題に対応し、農林水産業を支えてきた農業者や漁業者が、将来に向けて自信と希望、そして誇りを持って取り組んでいける産業を目指し、農林水産業の振興を総合的かつ計画的に推進するための政策を、戦略的に展開する長期的な指針となるものです。計画期間は平成26年度から33年度までの8年間です。

市の農林水産業の現状と課題

市の農林水産業は、昨今の経済情勢の変化、TPPや国の農林水産業に関わる政策のほか、消費者の食に対する安全・安心への関心の高まりやニーズの多様化、そして少子高齢化の進行による農林水産業への就労人口の減少など、多くの課題を抱え



特に、市の農林水産業を支える農家と漁家の戸数が大きく減少しています。農家は平成2年には203戸ありましたが、平成22年では78戸と20年間で125戸(62%)の減少となっています。また、漁家も同様に平成2年には84戸ありましたが、平成22年には34

目指す姿と基本柱

海と緑に囲まれた、豊かな環境の留萌地方に住む私たちは、南るもい米や新鮮な野菜、ウニ、エビ、タコをはじめ、前浜で獲れた新鮮な魚、市の面積の58・7%を占める森林資源など、豊かな自然の恵みを受け生かしています。

これら自然の恵みが地域にもたらす恩恵を市民全体が享受し、農林水産業に携わる生産者が、この地域で活躍できる産業を目指すためにも、一次産業への理解と生産者との結びつきを図りながら、市民全体で応援していくことが重要です。

市では、左ページの4つの基本柱により、農林水産業の目指す姿と役割を掲げ、農林水産業の発展と持続的な生産活動を支えるための計画づくりを行い、活性化を図っていきたくと考えています。

今後の農林水産業振興のために、皆さんの意見や提案(パブリックコメント)を募集します。

戸と20年間で50戸(60%)の減少となっています。このことは、留萌市の農林水産業従事者の高齢化と並び、重要な課題となっています。